

在宅緩和ケア講習会について（ご案内）

1. 目的

在宅緩和ケアに携わる薬剤師のスキルアップとリーダー薬剤師の育成を目的とした講習会です。症状緩和、対人援助コミュニケーション、地域連携及び在宅での看取りの推進をテーマに講習会を行います。

2. 主催

国立長寿医療研究センター

3. 共催

愛知県西知多薬剤師会

4. 日程（予定）

平成23年2月から7月まで、全11回のシリーズで講習会を実施します。

（別紙参照）

なお、講習会は各回とも全て19時30分～21時30分を実施します。

5. 場所

国立長寿医療研究センター 研究所 2階会議室

6. 受講資格

現在又は今後、在宅緩和ケアに意欲的に取り組むこととしている薬剤師であって可能な限り全ての講習会に参加できる薬剤師（人数が多い時は薬剤師が優先になりますが、在宅緩和ケアに関心のある全ての方が参加できます。）

7. 申し込み先

事務担当 鈴木佳子

E-mail y-suzuki@ncgg.go.jp

FAX 0562-44-8518

8. その他

1) 全11回の講習会のうち、6回以上講習会に出席された薬剤師の方には、国立長寿医療研究センターから修了証を交付します。

2) 講習を修了された薬剤師の方であって、ご本人の了承が得られた薬剤師の方は、国立長寿医療研究センターのホームページにお名前を掲載させていただきます。

3) この講習会は、日本緩和医療薬学会の認定講習会として単位が認められるように申請する予定です。（1回の講習会を2単位として申請予定）

なお、日本緩和医療薬学会の学会認定「緩和薬物療法認定薬剤師」の受験資格を得るためには、5年以内に100単位の取得が必要であり、年間最低取得単位数は20単位と定められています。

4) この講習会は、在宅医療助成勇美財団の助成により実施されます。

在宅緩和ケア講習会日程

回数	日 程	講 師	演 題
第1回	平成23年2月 1日(火)	大澤 匡弘 先生 (薬剤師)	薬理学の知識を活用した薬剤師の在宅緩和ケア支援
第2回	平成23年2月18日(金)	林 草敏 先生 (医 師)	パラレルケア ～緩和医療の理念と実際～
第3回	平成23年3月 1日(火)	串田 一樹 先生 (薬剤師)	医薬品提供における医療連携と他職種連携について
第4回	平成23年3月17日(木)	小笠原文雄 先生 (医 師)	在宅緩和ケアの実際 ～独居でも大丈夫～
第5回	平成23年4月 7日(木)	杉本 由佳 先生 (医 師)	在宅医療、ここまでできる！
第6回	平成23年4月22日(木)	村上 智彦 先生 (医師、薬剤師)	死生観のパラダイムシフト
		川越 厚 先生 (医 師)	在宅緩和ケアに必要なチームアプローチ
第7回	平成23年5月13日(金)	【シンポジスト】 川越 厚 先生 (医 師) 佐藤 博子 先生 (訪問看護師) 前田 桂吾 先生 (薬剤師) 山口 道子 先生 (ボランテニア)	独居がん患者の在宅での看取り ～医師、看護師、薬剤師とボランテニアの連携～
第8回	平成23年6月 2日(火)	白石 丈也 先生 (薬剤師)	在宅医療における多職種連携へのかかわりと患者支援
第9回	平成23年6月14日(火)	鈴木 央 先生 (医 師)	何が在宅死を可能にするのか
第10回	平成23年7月 8日(金)	白髭 豊 先生 (医 師)	在宅緩和ケアネットワークの構築 ～長崎での多職種連携の取り組み～
第11回	平成23年7月19日(火)	川村 和美 先生 (薬剤師)	在宅緩和ケアの質を向上する薬剤師の人間力